表1：「包括的かつ持続可能なAI国家への移行」に向けたMD2030のポイント

9つの目標
1. デジタル経済のGDPへの寄与率**30%** 2. 国際経営開発研究所（IMD）世界デジタル競争力ランキング**トップ25** 3. 国連の電子政府開発指数**トップ20** 4. 世界銀行のGovTech成熟度指数で**カテゴリーA**を維持 5. エコノミスト・インテリジェンス・ユニット（EIU）デジタル包摂指数で**トップ20** 6. マレーシア幸福度指数（MyWI）で**年率1.6%**向上（2026～2030年） 7. スタンフォードAI指数で**トップ10** 8. 英オクスフォード・インサイツによる政府AI準備指数で**トップ10** 9. 世界知的所有権機関（WIPO）グローバルイノベーション指数で**トップ20**

戦略分野	行動目標
政府 （デジタル省）	・政府サービスの95%をオンライン化 ・5年間で45億リンギのコスト削減を実現 ・連邦政府データの100%をデジタル化
経済 （投資貿易産業省）	・1,500億リンギのデジタル投資認可額 ・180億リンギのデジタル輸出 ・50万人の雇用創出 ・中小企業の80%が高度なデジタル活用レベルに到達
インフラ （通信省）	・人口集中地域における5G人口カバー率98%を達成 ・国家AIクラウドと5カ所のスーパーコンピューター基盤を整備 ・持続可能なデータセンターに関する制度・枠組みの導入
人材 （人的資源省）	・国民の80%がデジタルリテラシーを習得 ・高度技能労働者の割合を35%増加 ・70万人の労働者にリスキリングを実施 ・AIの専門人材2,000人をマレーシアに誘致
社会 （女性・家族・地域開発省）	・マレーシア・デジタル包摂指数を設立 ・デジタル・ビレッジ・ネットワークおよびデジタル・アクセシビリティ義務化 ・農村部におけるデジタル起業家5,000人を創出
信頼・安全（AIガバナンス） （デジタル省）	・マレーシア国民の80%がAIシステムを信頼 ・AI導入を支援する新たな法律を制定 ・全てのAI関連スタートアップおよび企業が国家AI安全基準の認証を取得
イノベーション （科学技術・イノベーション省）	・研究開発支出総額（GERD）の対GDP比を2.5%に引き上げ ・国内テクノロジー企業5,000社へ資金支援を実施 ・マレーシアに拠点を置くデジタル分野のユニコーンを5社創出 ・研究開発（R&D）の成果100件を商業化

注：カッコ内は各分野の取り組みを主導する省庁。
出所：マレーシアデジタル省資料からジェトロ作成

禁無断転載 COPYRIGHT (C) 2026 JETRO. ALL RIGHTS RESERVED.